

二本松青年海外協力隊訓練所

# ADATARA

あ だ た ら



特集

Contents

## おいしく学ぶ、世界の暮らし

食べることは生きること。おいしいランチで異文化理解♪

P3 イベントレポート・VOICE

P4 現地レポート「From ブルキナファソ」



大好評!

JICA二本松  
20周年記念 新企画

# 「おいしく学ぶ、世界の暮らし」

食べることは生きること。  
おいしいランチで異文化理解



6月開催の「モロッコ編」でモロッコ料理を紹介する元・青年海外協力隊の松浦重夫さん(21-3/プログラムオフィサー)。モロッコの民族衣装・ジュバを身に纏ってお話されました。

これまでの「おいしく学ぶ」ランチメニュー一挙公開!

## 「おいしく学ぶ、世界の暮らし」とは?

JICA二本松は、今年で開所より20周年目の節目を迎えます。これを機に、さらに多くの地域の皆様に訓練所の存在を知っていただきたいという思いのもと、訓練所を会場にした国際理解プログラム「おいしく学ぶ、世界の暮らし」を4月より開始いたしました。

これは、世界各国の料理を味わい

ながら、その国で活動してきた青年海外協力隊員のお話を聞いていただくというランチ学習イベントです。イベントは2部構成で、ランチの後は、訓練所スタッフによる訓練所見学ツアーを開催しています。

本格始動に先立って、去る3月には新野洋二本松市長をはじめとした関係者を招いての「お披露目会」も開催しました。

毎回、定員を大きく上回る申し込みがあり、なんとその多くはシニア層と主婦層。これまで、「異文化」や「国際

理解”からは縁遠いと感じていた参加者たちも、「食」を入口にすることで、親しみやすく異国の文化に触れることができ、協力隊員たちの等身大の生活・文化体験談は非常に興味深いと、好評を得ています。

今号では、この「おいしく学ぶ、世界

の暮らし」を盛り上げてきたおいしいお料理や、開催を支えるスタッフなどを紹介してまいります。

ベトナム  
フォー・ポー



分かりやすく生活に密着した内容だったので、ベトナムに行きたくなりました。

フォー・ポー(牛肉のフォー)、ベトナム風鶏サラダ、バナナとタピオカのチェー

8月開催

モロッコ  
クスクス



自分の思っている事と、だいたいちがっていたため、これからはいろいろと知りたい

料理は本格的で美味しかったです。

7種の野菜のクスクス、レンズ豆のスープ、クスクスのグラタン、デザートスぺアーツ(揚げ春巻きのスィーツ)、モロッココーヒー(黒こしょうとシナモン入りコーヒー)

6月開催

タイ  
グリーンカレー



グリーンカレー(ゲーン・キアオワーン)、スパイシー春雨サラダ(ヤム・ウン・セン)、トムヤムクン、かぼちゃのココナッツミルク煮(ファクトーン・ゲンプワット)

4月開催

インドネシア  
ナシゴレン



小学生の孫たちも連れて来て見学させてあげたいです。

ナシゴレン、ガドガドサラダ、ソト・アヤム(鶏のスープ)、デザート ※ガドガドは「いろいろ」という意味

3月開催(お披露目会)

調理をしているのは  
この方!



JICA二本松訓練所  
料理長 加島 恵治さん

二本松訓練所の食堂に勤務して4年になります。現在、訓練所では、訓練生に対して週に1回の世界の料理を提供していますが、実は私が着任した頃は何かイベントがあるときに海外のカレーを提供するくらいでした。そこで、これから派遣される各国の味を体験してほしいという思いで世界の料理を提供し始めました。

1回の訓練期間中に、7、8か国の料理を作ります。本来は、現地の味をそのまま再現したいのですが、手に入れられる材料に限りはあり、そうもいきません。ただ、こういう料理があるんだという雰囲気や伝えようと思っています。

私は客船や商船に乗ってコックをしていたので、世界65か国ほどを回りながら、ダウンタウンの屋台などでその土地の味や人柄を楽しんできました。

さて、そんな私も実は「おいしく学ぶ、世界の暮らし」というタイトルがとても不安でした。というのも、世界の各国料理は、口に合うもの合わないものがあると思います。「本当に「おいしい」と思ってもらえるだろうか」という気持ちでいましたが、今では私も皆さんと一緒に学んでいるところです。

おっかなびっくりでも良いと思います。一緒に、冒険してみませんか?

加島料理長  
特製レシピ

## 二本松訓練所オリジナル「ナシゴレン」

【材料(2人分)】  
炊きご飯茶碗4杯 鶏肉 100g 玉ねぎ 1個 ニンニク 1片  
ケチャップマニス スプーン大4杯(無い時はケチャップとウスターソースと砂糖でもOK) 塩・胡椒・サラダオイル 各少々  
【ご飯の上のトッピング】  
皮つき海老 2尾 串付き焼き鳥 2本 海老せん 2枚 胡瓜4枚  
トマト2枚 レモン2カット 青唐辛子2本 チリソース大さじ2杯  
●料理長より「色んな物を乗せると楽しいです!」

【作り方】  
1. 炒めた玉葱と炊いたご飯をケチャップマニスと塩胡椒で炒める  
2. 串付き焼き鳥は焼く  
3. 海老せんと皮つき海老の背開きは油で揚げ塩胡椒をする  
4. 生の胡瓜とトマトはスライスする  
5. 青唐辛子は炒めて塩胡椒する  
6. 大き目の皿に炒めたご飯を盛り2~5をトッピングする  
食べる時にお好みでレモン、チリソースを使う  
●料理長より「普通の焼き飯に物を乗せれば基本的にナシゴレンです!」

イベントに参加した方には、「お土産レシピ」をプレゼントしています。本場の味を、ぜひご自宅でもお楽しみください。今回は、大人気「ナシゴレン」のオリジナルレシピを特別に公開いたします!

次回予告

## 10月開催 「福島・フィリピンこころの復興イベント」

10月の「おいしく学ぶ、世界の暮らし」は特別編です。テーマ国はフィリピンですが、福島テレビと共催で「福島・フィリピンこころの復興イベント」と題して実施いたします。これは、昨年11月に甚大なる台風被害を被ったフィリピン国を支援している「FNSチャリティキャンペーン」とのコラボレーション企画となります。おいしいフィリピンランチが食べられるのはもちろん、シドニーオリンピック銅メダリスト・元競泳選手の田中雅美さんのトークショーや、チャリティバザーも行われます。フィリピンを学び、味わい、そして応援しましょう!

※詳細はJICA二本松ホームページ、Facebookをご確認ください。  
※今後の「おいしく学ぶ、世界の暮らし」の最新情報は、JICA二本松公式Facebookにて発信してまいります。「いいね!」を押して、ページに参加してください。





# EVENT REPORT

## 「二本松フェスタ 霞が城夏の陣」訓練生が参加

イベント  
レポート1



浴衣でお祭りを楽しむ訓練生達。手にしているのは願いや誓いをこめた灯籠

7月26日(土)に、二本松商工会議所青年部の主催により「二本松フェスタ2014 霞が城夏の陣」が二本松市の霞が城で開催されました。

日頃より訓練生をサポートしてくださっている「にほんまっ地球市民の会」が、このお祭りに訓練生を招待し多くの訓練生が祭りに参加しました。

会場には出店が並び、花火が打ち上げられ、灯籠流しも行われており、全国から訓練所に集った参加者たちは短い二本松の夏を満喫していました。

参加した訓練生からは「タイトな訓練スケジュールの中で二本松市を観光することも難しいので、この機会にお城やお祭りを楽しめて良かった。」とイベントを十分に楽しんだ様子でした。

## 平成26年度 2次隊が被災地を視察

イベント  
レポート2



津波被害の大きかった北泉海岸を視察。(8月3日)

7月27日と8月3日の2回に渡り、平成26年度第2次隊の訓練生が東日本大震災の被災地を視察しました。震災発生から3年半という月日が経過し、復興に向けた力強い歩みがみられるものの、被災地では依然として困難な状況が続いています。そこで、被災地の現状を理解するための機会として、二本松訓練所では全国から集っている訓練生を対象にしたスタディツアーを毎隊次実施しています。

8月3日の主な目的地は南相馬市内。津波で大きな被害を受けた鹿島区・原町区の沿岸や、居住制限区域となっている小高区の駅周辺等を視察しました。また、復興拠点の一つにもなっている子どものための体験学習施設「南相馬ソーラー・アグリパーク」を見学しました。それぞれの見学先では、訓練生たちの涙ぐむ姿や海に向かって合掌する姿、さかんにメモをとる姿が見られ、それぞれが福島の現在の姿を胸に刻みつけていました。被災地の現状と一步一步前進する人々の姿を派遣国で伝えることが期待されます。

## VOICE

このコーナーでは日頃よりJICA二本松を応援してくださっている県内の皆様にインタビューし、JICAボランティアとのエピソードや期待・エールをうかがっていきます。

第6回目は、岳温泉観光協会の鈴木安一さんにお話をうかがいます。

岳温泉観光協会  
すずき やすいち  
会長 鈴木 安一さん



「訓練所が設立20周年なので、それ以上のお付き合いということなのですね。そうすると、これまでにたくさんの訓練生たちと出会ってきたと思いますが、彼らの姿は鈴木さんにはどのように映りますか。」

入所式と修了式に呼んで頂くことがあり参加しているのですが、みなさんの顔つきがガラッと変わっているのが印象的です。特に、修了証書を授与されるときに、各国ごとに意気込みを伝えるシーンがありますよね、あれを見ているととても感動します。その訓練生の元気を世界中のみならず日本中に伝播してほしいと思っています。

「岳温泉観光協会として、訓練所と一緒にやってみたいことはありますか？」

もちろん、訓練生の同窓会などで使って頂きたいですし、地域と訓練所を結ぶようなことができればと思います。例えば、二本松訓練所の卒業生や福島出身の隊員の報告会を岳温泉で行うなど。これまで、訓練生には岳温泉街を利用いただきこちらでも元気をもらってきましたので、観光協会としても、それに応えていきたいと考えています。

「最後に訓練生、そして現在世界中で頑張っている隊員にメッセージをお願いします！」

安達太良山の下で訓練した皆さんには、是非、安達太良や岳温泉のことを世界中でPRして欲しいですね。そして、日本人として、地域の村おこしの礎(いしずえ)を築く立派な役目を果たしてください。

私は皆さんの前向きで明るいところが好きです。元気に活動を終えたあとは、日本に帰ってきてからも前向きに明るく頑張してほしいです。



鈴木さんがオーナーを務める「陽日の郷 あづま館」にて

岳の温泉や飲食店には訓練生たちはとてもお世話になっています。これからも応援よろしく願います。ありがとうございました！



JICA ボランティア  
**現地レポート** from Burkina Faso

福島県出身



につか あやか  
**新田 絢香**さん  
平成 25 年度 1 次隊  
出身地：郡山市  
派遣国：ブルキナファソ  
職 種：村落開発普及員



▲先日活動をスタートしたリサイクル活動を行う団体メンバーと。みなで材料となるプラスチックゴミを拾います。

ボンジュール！みなさん、こんにちは。私は西アフリカのブルキナファソという国で、地域のゴミ問題を解決するための活動をしています。ブルキナファソ人は、実はアフリカの日本人と言われるほど、少しシャイでよく働く人が多く、とても親しみやすい国です。また、64もの民族が暮らしているのですが、それぞれの民族間に友情関係があり、なぜ友情関係になったのかを知る物語が父から子へ語り継がれます。同僚や初めて会った人同士でも「あのとき、あなたは僕たちのお酒を盗んだからな〜」とか「〇〇族はピーナッツしか食べないからな〜」など、その物語にまつわる冗談を普段から言い合って「民族仲良く」暮らすことをとても大切にしている国です。



▲ブルキナファソの生活といったらシリア。そのまま食べたり、シアバターにして薬用として身体に塗ったりと、いつでも使われています。

そんな平和で穏やかなブルキナファソですが、最近ではビニール袋等のプラスチック包装が普及し、それらをポイッと道に捨ててしまう人が多く、家畜が誤って食べて死んだり、作物が育たなかったりして問題になっています。私は環境省に勤務し、地域の小学校でプラスチックゴミに関する環境教育を行ったり、清掃団体と一緒に環境イベントを行ったりしています。



▲完成したリサイクルバック(飲料水の入ったビニールをリサイクルしたもの)



▲赤ちゃんは白いので現地語で「白ちゃん」と呼びます。

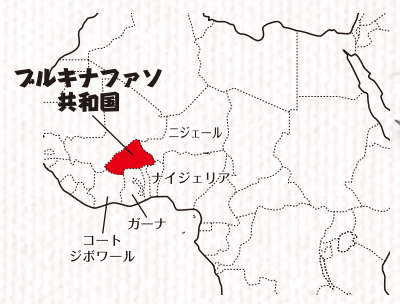
今まで何気なく道に捨てていたゴミを、きちんとゴミ箱へ捨てるように変えることは簡単なことではありませんが、現地の人の現金収入にも繋がるリサイクル商品製作・販売活動なども通して人々の関心が高まっていけばと思います(今夏、大阪の阪急百貨店でも販売中です!)。これからも現地の仲間たちと楽しく活動していきたいと思っています。



▲水や野菜の入った入れ物を、皆ひょいっと頭にのせて運びます。それで赤ちゃんをおぶったり、自転車にのったり！たくましいです。



▲リサイクル商品づくりのための現地布選び。市場には鮮やかなアフリカンカラーが並び、見ているだけでわくわくします。





福島に  
ゆかりのある

# JICAボランティア

平成26年度2次隊(26年9月出発)

①出身地 ②派遣予定国 ③職種



青年海外協力隊  
しらしら きょうみ  
**白石 今日美さん**  
① 田村市  
② カメルーン  
③ PCインストラクター

ボランティアの素晴らしさに気付いたのは本当につい最近のこと、震災ボランティアとして、南相馬や宮城県名取市などで活動をしたことがきっかけでした。ボランティアに参加する側、助けられる側。ボランティアを通じて様々な方の想いが繋がっていく様にとっても魅せられました。カメルーンでは、現地の生徒たちにITについて教える仕事をする予定です。国境を超えて想いの輪を繋げられるよう、笑顔で活動していきたいと思えます。



青年海外協力隊  
たくどう  
**橋本 拓道さん**  
① いわき市  
② ヨルダン  
③ 環境教育

青年海外協力隊に応募したきっかけは、学生時代に国際協力に興味を持ち、カンボジアを訪れたことです。日本とはまったく異なる環境、そして状況の中で、たくましく生きる人々の姿に惹かれました。グローバル化が進む中で、日本と世界は複雑につながっています。地球環境問題に対応し、どうすれば持続可能な社会に向かえるのかを、現地の人々と共に考え、地域から行動を起こして行けるような環境教育活動を促進していきたいと考えています。また、日本と世界の文化を学び、それぞれの良さを発見し、広げていけるような2年間にしたいです。



シニア海外ボランティア  
はしもと ひろみつ  
**橋本 裕光さん**  
① 福島市  
② インドネシア  
③ 化学・応用化学

今60歳代へのスタートラインにたちました。福島市で生まれ岩手県の釜石を振り出しに36年間ものづくりをしてきました。その間に蓄積したノウハウをインドネシアで熟成させ、日本の復興に活かそうと思いいICAのシニアボランティアに応募しました。今回の東北大地震では、生まれ育った、福島・釜石が大きな被害を受けました。その復興で得られたノウハウも任国で伝えたいと思えます。息子・娘と同世代のかたとの研修を受けていますが、若い力に刺激され、心身ともに成長した気がします。



青年海外協力隊  
たかはし  
**高橋 あゆみさん**  
① 福島市  
② モンゴル  
③ デザイン

小学生の頃、母に「青年海外協力隊っていう外国でボランティアしてる人達が居るんだって。将来、私もしてみたいな。」と云った時の気持ちの感覚を私は今でもはっきりと憶えて居ます。その「初心」を時たま思い出しながら2年間、一日一日を大切に心を込めて、活動して来ようと思えます。Peace begins with a smile\*. Sense of wonder.



青年海外協力隊  
たんじ ひろき  
**丹治 宏樹さん**  
① 福島市  
② インドネシア  
③ 陸上競技

学生時代にできた夢の1つに、海外で働くというものがありません。目を輝かせて経験談を語ってくれる、青年海外協力隊の経験者の方を見るときに、「これだ!」と思いました。これまで、「国際協力」などという言葉すら知らなかった自分が、今、訓練所で生活しています。「できないことなどない」という気持ちで、自分の人生を切り開くことは、とても大切だと感じています。支えていただいている多くの方々に感謝し、私にできる『国際協力』をしていきたいです。



青年海外協力隊  
なかむら よしゆき  
**中村 善之さん**  
① 福島市  
② スリランカ  
③ バドミントン

恩師から誘われて、以前より青年海外協力隊に参加したいと考えていました。今回の活動を支えてくれる家族と応援してくださる方々に感謝しながら任国でしっかり活動できるように70日間の訓練に励みたいと思えます。多くの方との出会いの中で今まで学んできた知識や経験を活かし、任国の方々と共に笑顔で自分自身も成長して日本に戻ってきたいと思えます。

2014年8月31日現在 合計派遣中32名/累計673名

青年海外協力隊		日系社会青年ボランティア	
派遣中	30	累計	614
シニア海外ボランティア		日系社会シニアボランティア	
派遣中	1	累計	44
派遣中	1	累計	5

## 福島県出身ボランティア

市町村別  
派遣中隊員数



## JICAボランティア 秋募集

募集期間  
**2014年10月1日~11月4日** (当日消印有効)



10月より今年2回目のJICAボランティアの募集が始まります。今回の秋募集では、日系社会青年ボランティア、日系シニアボランティアも募集いたします。これに合わせて県内各地でも、JICAボランティア制度や青年海外協力隊のお話をお聞き頂く機会を設けております。応募をお考えの方は、是非、右記会場へ足をお運びください。

●10月4日(土)  
【お祭り】国際交流フェスティバル2014  
~世界をもと身近に~

場所:鶴ヶ城体育館(会津若松市)  
内容:映像上映、青年海外協力隊体験談、個別相談

●10月11日(土)  
【セミナー】福祉学と国際ボランティア

場所:桜の聖母短期大学  
内容:青年海外協力隊体験談、JICAボランティア制度説明、個別相談

●10月12日(日)、13日(月)  
【お祭り】ふくしまFM20周年記念イベント(仮題)

場所:ビッグパレットふくしま  
内容:青年海外協力隊体験談、個別相談

●10月26日(日)  
【イベント】福島・フィリピン ころの復興イベント

場所:JICA二本松  
内容:青年海外協力隊体験談、個別相談

## ラジオ番組のご案内

### JICA二本松 公式Facebook



これ、なんの訓練? 答えはJICA二本松のFacebookページをご覧ください!  
(2014年5月21日投稿)

ほぼ毎日、更新中!  
<https://www.facebook.com/jicantc>

### ふくしまFM

キミノチカラ、海を越えて  
~青年海外協力隊の道~



世界各国で活躍した隊員をゲストに迎え、参加の動機から任地での活動、帰国後のお話を2週に渡ってたっぷりうかがいます。

毎週土曜 / 8:30~8:55

### FM Mot.Com

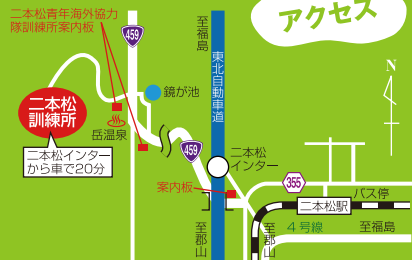
世界も、自分も、変えるラジオ



二本松訓練所の訓練生がつくる番組です。熱い想いが詰まった60分!

第2木曜 / 13:00~14:00  
(再放送:第3木曜/13:00~14:00)

## アクセス



独立行政法人国際協力機構  
**二本松青年海外協力隊訓練所**  
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2  
Tel: 0243-24-3200 Fax: 0243-24-3214

●本誌に関するお問合わせ  
JICA福島デスク 担当:八巻(やま) Tel:024-524-1315 Fax:024-524-8308  
〒960-8103 福島市舟場町2-1 (公財)福島県国際交流協会内